

クロージング ネオヴィジョン 新たな広がり

【第1部】建築「信濃美術館と林昌二」

【第2部】コレクション「私の、この一点」

【第3部】7人の若手作家

CLOSING



NEO VISION

2017. 9.16 Sat - 9.30 Sat

開館時間 午前9時〜午後5時(入場は午後4時30分まで) ※最終日は午後6時閉館 毎週水曜日休館
観覧料 大人800(700)円 / 大学生600(500)円 / 高校生以下無料

★会期中毎日先着100名様に長野県信濃美術館所蔵品絵画ガキブプレゼント!

★おまけ付チケット 900円(限定) ※展覧会特製クリアファイル付き

★リピーター割引 ◎「クロージング ネオヴィジョン」展の半券提示で200円引き

※割引の併用はできません。 ※()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、付き添い1名は無料

最終日
9月30日(土)
入館無料

主催 長野県、長野県信濃美術館

共催 長野県教育委員会

協力 株式会社 日建設計

信州大学工学部建築学科 寺内研究室

後援 長野市、長野市教育委員会、長野県芸術文化協会、長野商工会議所、善光寺、

長野県美術教育研究会(公財) 八十一文化財団(公財) ながの観光コンベンションビューロー、

JR東日本長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、信越放送(株)、(株)長野放送、

(株)テレビ信州、長野朝日放送(株)、(公社)日本建築家協会「JIA」、

(公社)日本建築士会連合会、(公財)信濃教育会

長野県信濃美術館

Nagano Prefectural Shinano Art Museum

長野市箱清水1-4-4 (善光寺東隣城山公園内)
電話 026-222-0092

http://www.npsam.com



Facebook

1966年に開館した長野県信濃美術館は、開館から50年以上経過した今年、リニューアルのため、長期休館となります。現建物最後となる本展では、信濃美術館のこれまでの歩みと、未来へ向けた新たな広がり、3つのパートからご紹介します。

【第1部】建築「信濃美術館と林昌二」

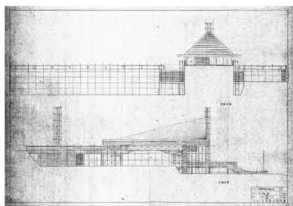
建築家・林昌二氏による意匠を凝らした、現在では数少ない「HPシェル構造」を取り入れた建築である信濃美術館を、「構造」と「テクスチャ(質感)」の2つをテーマにふりかえります。



1. 開館当時【撮影：村井修】



2



3

※1~3 提供：株式会社 日建設計

【第2部】コレクション「私の、この一点」

長野県信濃美術館が所蔵する約4000点のコレクションの中から、一般投票により、みなさまが見たい「この一点」を、お寄せいただいたコメントとともに展示します。



1. 池上秀敏
《四季花鳥・春》1918年



2



3

2. 山本鼎
《白菜と赤蕪》1937年

3. 中村琢二
《伊那谷の春》1979年

【第3部】7人の若手作家

これからの長野県ゆかりの若手作家を、絵画、写真、彫刻、陶芸、インスタレーションなど様々なジャンルの作品からご紹介します。また、会期中には作家によるパフォーマンスやワークショップ、公開制作などを予定しています。



1



2



3



4



5



7

1. 北村佳奈(rip)2017年/絵画
2. 篠田優(Voice(s)_01)2017年/写真
3. 新村優子(還るところ)2012年/彫刻
4. 倉石太次郎(ニコライ堂)2002年/絵画
5. 上田暁子(まだ舟はいらない)2017年/絵画
6. 下平千夏(エーテル(Ether))2016年
犬鳥家プロジェクト C邸/インスタレーション
7. 坪内真弓(覆われた思惑)2017年/陶芸

EVENTS

※詳細は信濃美術館までお問い合わせください。

○公開制作 下平千夏(美術家・第3部出品作家)
美術館入口階段下に設置の下平千夏作品を公開制作します。
日時=9月2日(土)から制作開始

○オープニングトーク
本展に出品の若手作家7人によるトーク。
日時=9月16日(土)10:30~ 30分程度
申込=不要 参加費=無料(ただし観覧料は必要)
場所=長野県信濃美術館ロビー

○講演会「信濃美術館と建築家 林昌二」
講師=根橋宏次氏(日建OB、信濃美術館の建設に携わる)
安田幸一氏(東京工業大学教授、安田アトリ主宰)
寺内美紀子氏(信州大学准教授)
日時=9月16日(土)13:30~15:30
場所=長野県信濃美術館 3階講堂
申込=不要 参加費=無料(ただし観覧料は必要)

○ブログ・SNSユーザー向け特別内覧会
出品作家に直接、話を聞くことができます。
日時=9月16日(土)17:20~
申込=当館HP内の応募フォームのみにて受付
申込締切=9月5日(火)17:00
定員=100名(応募者多数の場合は抽選)
参加費=無料

【参加条件】
ブログ、Facebook、Twitter、Instagramの個人アカウント(いずれかひとつ必須)をお持ちで本展覧会並びに当館の展覧会紹介記事としてインターネット上に掲載・公開が可能な方。(友達のみ、自分のみの公開は対象外)

○ワークショップ ピンホールカメラを作ろう
講師=篠田優氏(写真家・第3部出品作家)
日時=9月17日(日)13:30~15:30頃
場所=長野県信濃美術館 3階講堂ほか
申込=必要
定員=30名 ※定員に達し次第終了
参加費=無料(ただし観覧料は必要)

○絵画制作空間パフォーマンスプロジェクト“EN ROUTE”

音楽家やダンサーとその場を共有することで即興の絵画制作空間を作り上げるパフォーマンスです。
出演=絵画 上田暁子氏(画家・第3部出品作家)
打楽器 山崎直人氏(パーカッション)
ピアノ 新井陽子氏(ピアニスト・ゲスト出演)
日時=9月23日(土)14:00~ 40分程度
場所=Café Kaii(信濃美術館内)
申込=不要 参加費=無料(ただし観覧料は必要)
※9月23日はイベントのため、Café Kaiiは終日営業しません。

○コラボレーションイベント(プロジェクション)

信濃美術館の屋外に設置した下平千夏作品にSybille Neumeyer(美術家)の映像を投影します。
日時=9月30日(土)17:00~
場所=長野県信濃美術館前広場

○ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)

日時=会期中の土・日 11:00~ 30分程度
※9月16日(土)を除く
申込=不要 参加費=無料(ただし観覧料は必要)

◎休館後もまだまだ続く! 特別イベント

アンデパンダン展 in 長野県信濃美術館
2018年2月27日(火)~3月4日(日) 観覧料無料
県内在住の方々を公募し、展示します。(募集は2017年10月から)

解体直前 アーティスト・イン・レジデンス in 長野県信濃美術館
*休館日=毎週水曜日 観覧料無料
公開制作 2018年3月5日(月)~3月23日(金)
発表 2018年3月24日(土)~3月31日(土)
若手作家を公募し、解体直前の信濃美術館で公開制作・作品発表を行います。期間中は、子どもから大人までご参加いただけるワークショップも開催します。

無料駐車場140台

●車で越越しの場合 上信越自動車道「長野I.C.」または「須坂長野東I.C.」から、長野市街及び善光寺を目標に約30分。
※東山魁夷館駐車場もご利用いただけます。※車いす・ベビーカー等をご使用の方は、東山魁夷館駐車場及び東山魁夷館入口をご利用いただくこととスムーズに入館できます。
●公共交通機関で越越しの場合 JR長野駅善光寺口バス乗り場①から、アルピコ交通バス11・16・17で「善光寺北」下車。バス進行方向の城山公園奥。善光寺から徒歩3分。

○ベビーカーツアー

子育て中のママ・パパのためのギャラリーツアー。
日時=9月19日(火)第1部 建築「信濃美術館と林昌二」
9月22日(金)第2部 コレクション「私の、この一点」
9月26日(火)第3部 7人の若手作家
いずれも10:30~11:15
申込=必要
定員=5組(先着) 参加費=無料(ただし観覧料は必要)

○信濃美術館クロージングレセプション

語らいながら、信濃美術館の最後のひとときを。
日時=9月30日(土)展覧会最終日 17:30~
場所=長野県信濃美術館前広場(雨天時:Café Kaii)
どなたでもご参加いただけます。



長野県信濃美術館

長野市箱清水1-4-4(善光寺東隣城山公園内)
電話=026-232-0052
http://www.npsam.com